

第67回日本透析医学会・学術集会

血液透析患者のオーラルフレイルと GNRI・サルコペニアの調査

医療社団法人つばさ つばさクリニック

管理栄養士 磯山悠

大山恵子、横関美枝子、大槻美佳、佐藤真歩
両国東口クリニック 大山博司、諸見里仁、藤森新

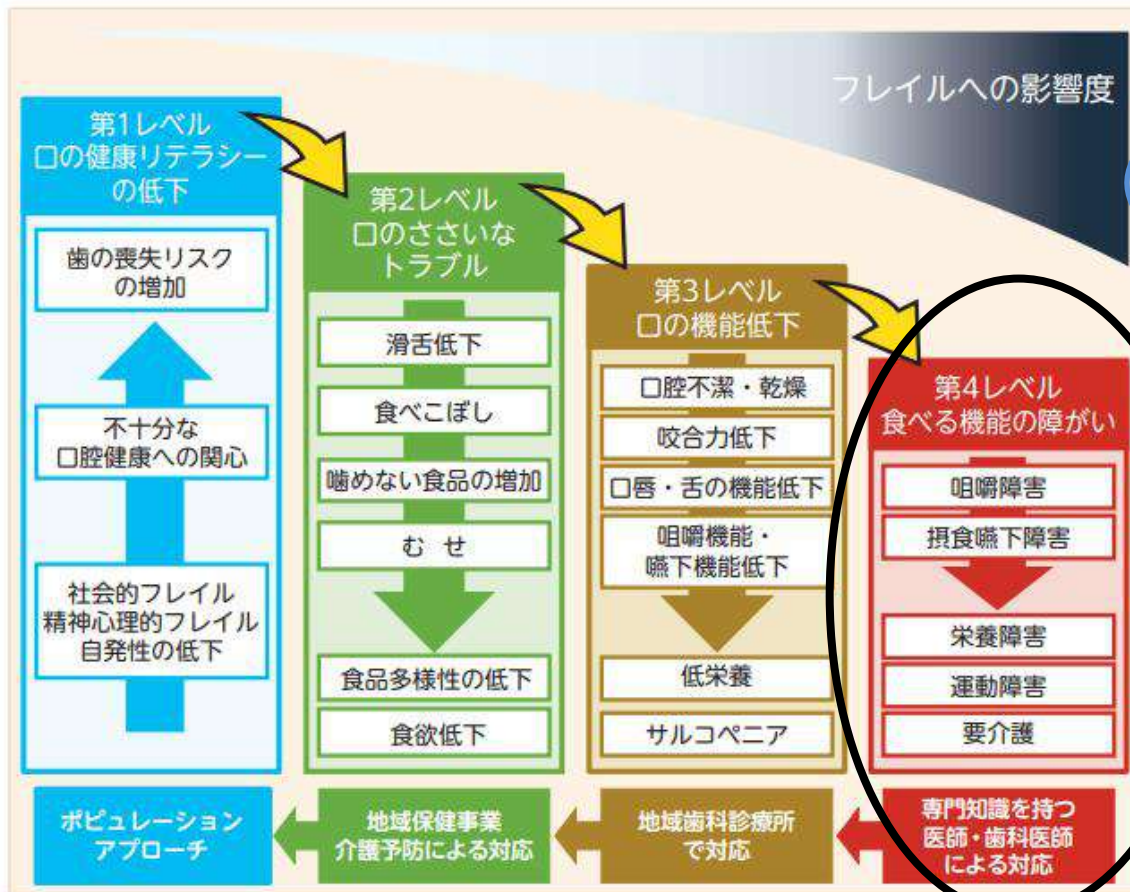
日本透析医学会 COI開示

筆頭発表者名：磯山悠

演題発表に関連し、開示すべきCOI関係にある
企業などはありません。

背景・目的

近年超高齢化社会においてオーラルフレイルが問題である。オーラルフレイルはむせや食べこぼし等のささいなトラブルから栄養障害・運動障害・要介護へと進行していることがある。そこで、当院のオーラルフレイルとGNRI (geriatric nutritional risk index)、サルコペニアの関連があるか調査した。



口腔内のささいなトラブルから
食べる機能障害へ進行...

日本医師会HPより

図 I-5 オーラルフレイル概念図 2019年版

対象・方法

- 当院通院中の患者136名中同意の得られた94名（男性75名、女性19名、68.3±12.5歳）
- オーラルフレイルスクリーニング問診票を用い、管理栄養士が聞き取り調査を実施。
- GNRIは定期採血をもとに算出。
- サルコペニアは体力テストの結果をもとに抽出。

方法① オーラルフレイル問診票

オーラルフレイルチェック方法

オーラルフレイルのスクリーニング問診票

質問項目	はい	いいえ
半年前と比べて、かたいものが食べにくくなった	2	
お茶や汁物でむせることがある	2	
義歯を使用している	2	
口の渴きが気になる	1	
半年前と比べて、外出の頻度が少なくなった	1	
さきいか・たくあん位のかたさのものが噛める		1
1日に2回以上は歯を磨く		1
1年に1回以上は歯科医院を受診している		1

8項目に「はい」「いいえ」で回答し
合計点数を算出します

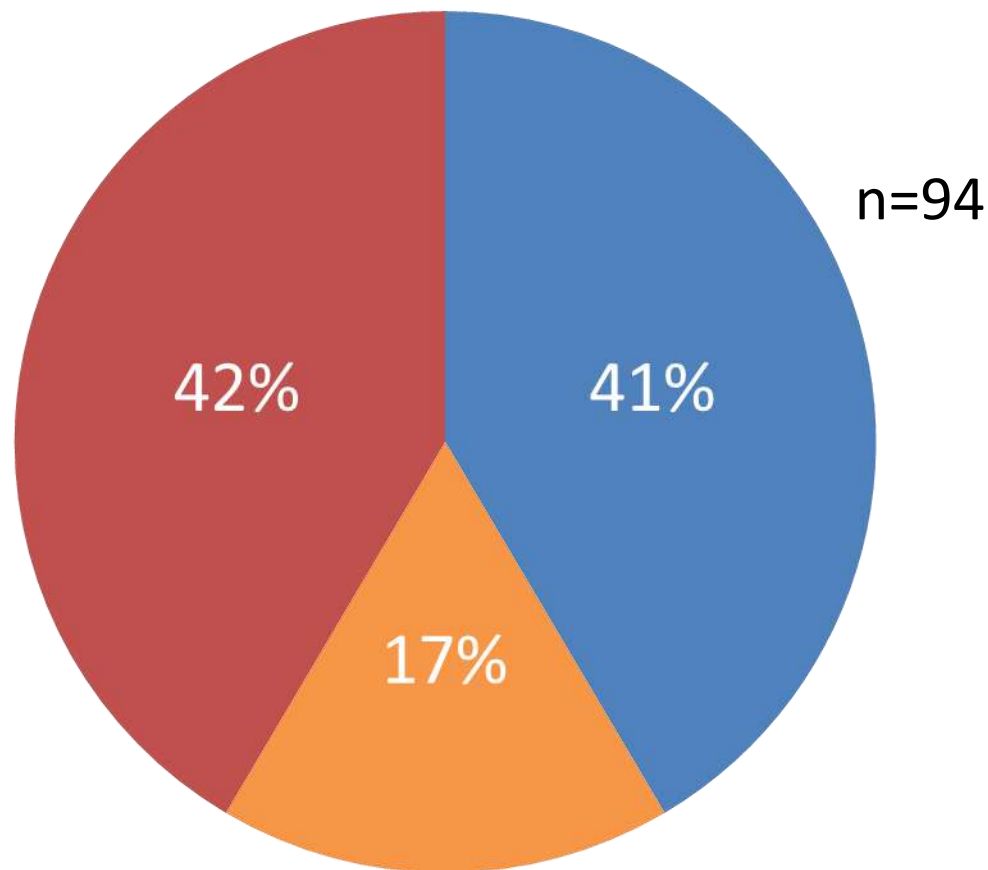
合計点数が

0～2点：オーラルフレイルの危険性は低い

3点：オーラルフレイルの危険性あり

4点以上：オーラルフレイルの危険性が高い

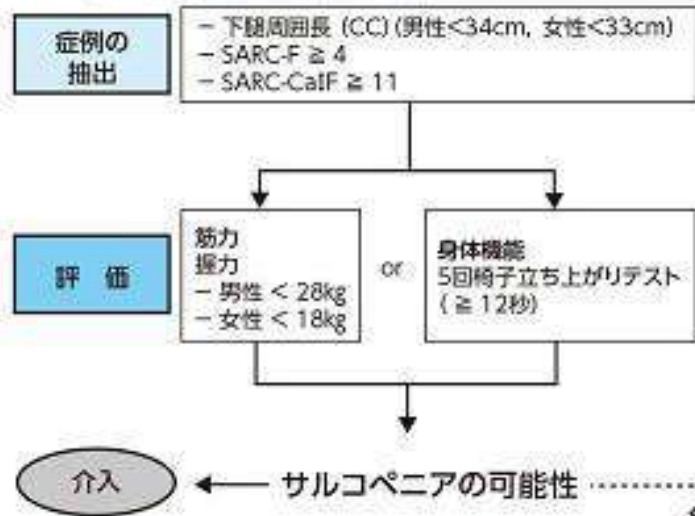
当院オーラルフレイル危険性の割合



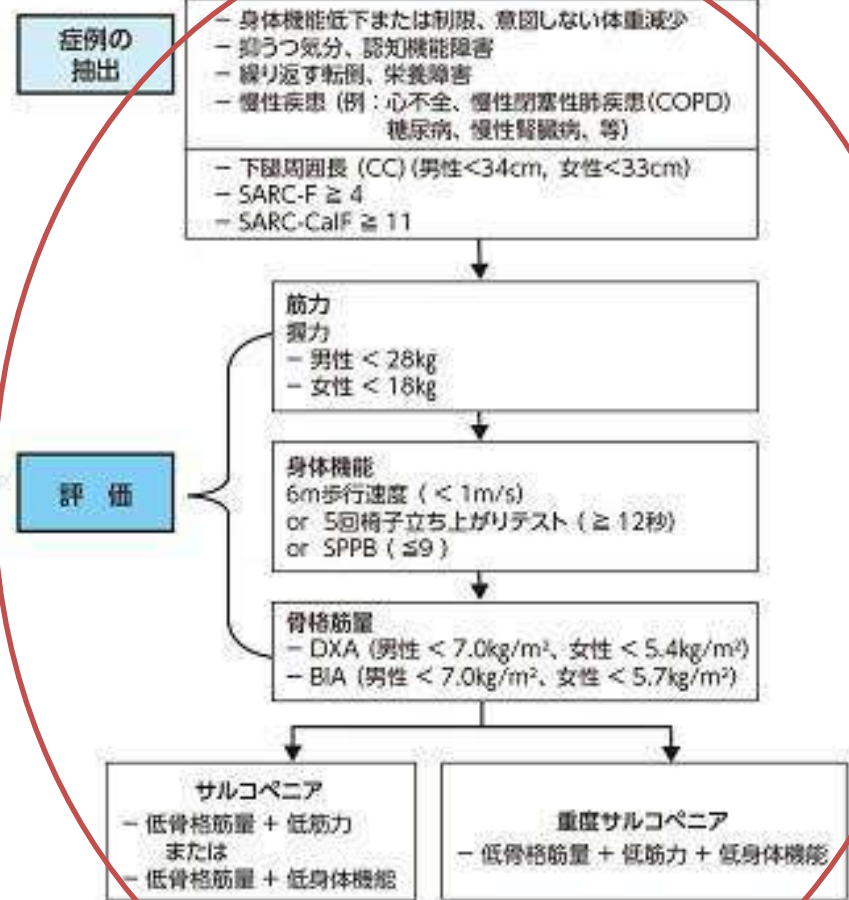
- オーラルフレイルの危険性は低い
- オーラルフレイルの危険性あり
- オーラルフレイルの危険性が高い

方法②サルコペニア判断基準

一般の診療所や地域での評価

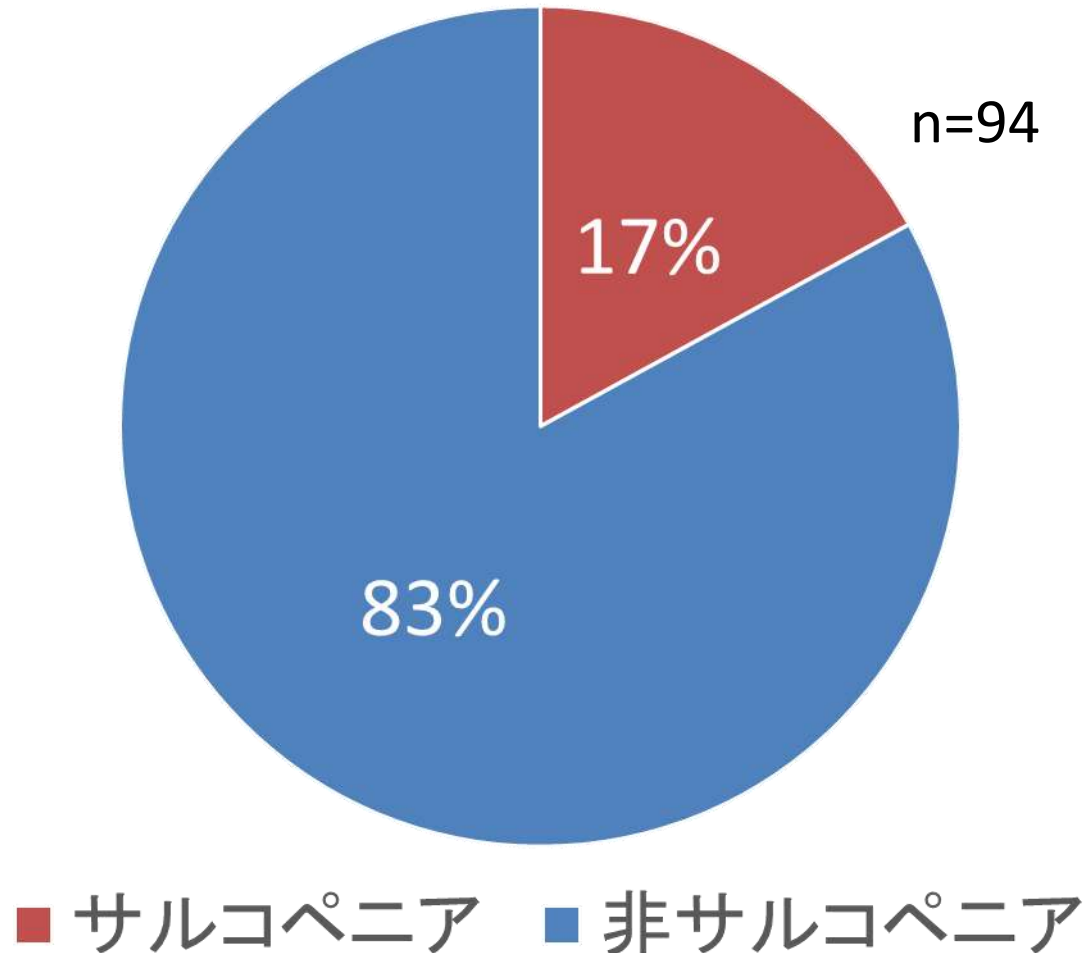


装備の整った種々の医療施設や研究を目的とした評価



AWGS 2019サルコペニア診断基準に基づき体力テストより抽出

当院サルコペニアの割合



方法③GNRI

- GNRI = $[14.89 \times \text{血清アルブミン (g/dL)}]$
+ $[41.7 \times (\text{現体重 (DW) kg} / \text{理想体重 kg})]$
* 現体重 (DW) kg / 理想体重 kg = 1 以上の場合は、1 として計算した。
- 定期採血にて実施

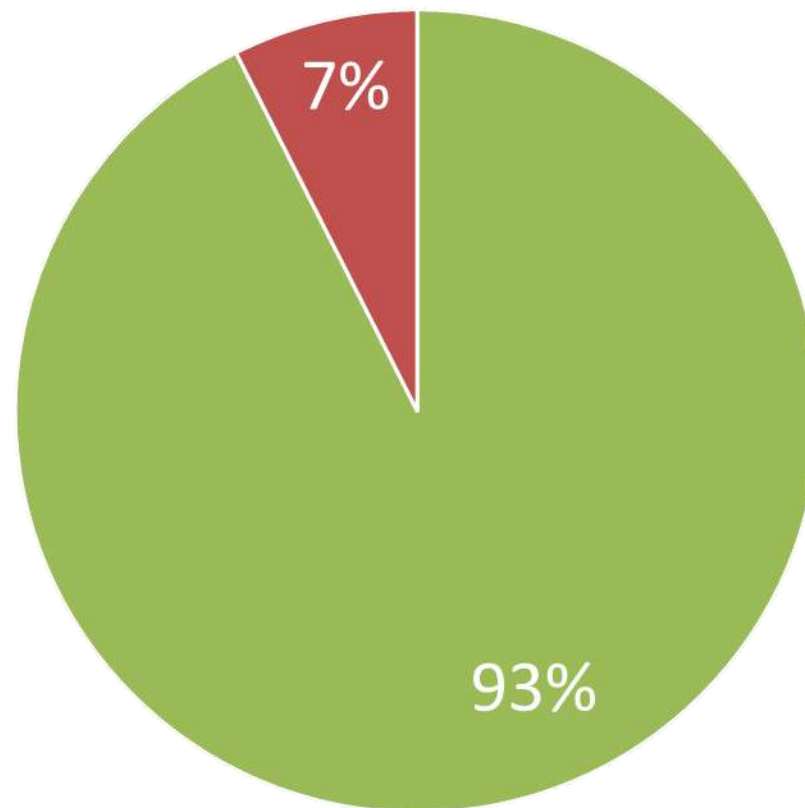
【透析患者における判定】

91 > GNRI : 栄養リスクあり

GNRI \geq 91 : 栄養リスクなし

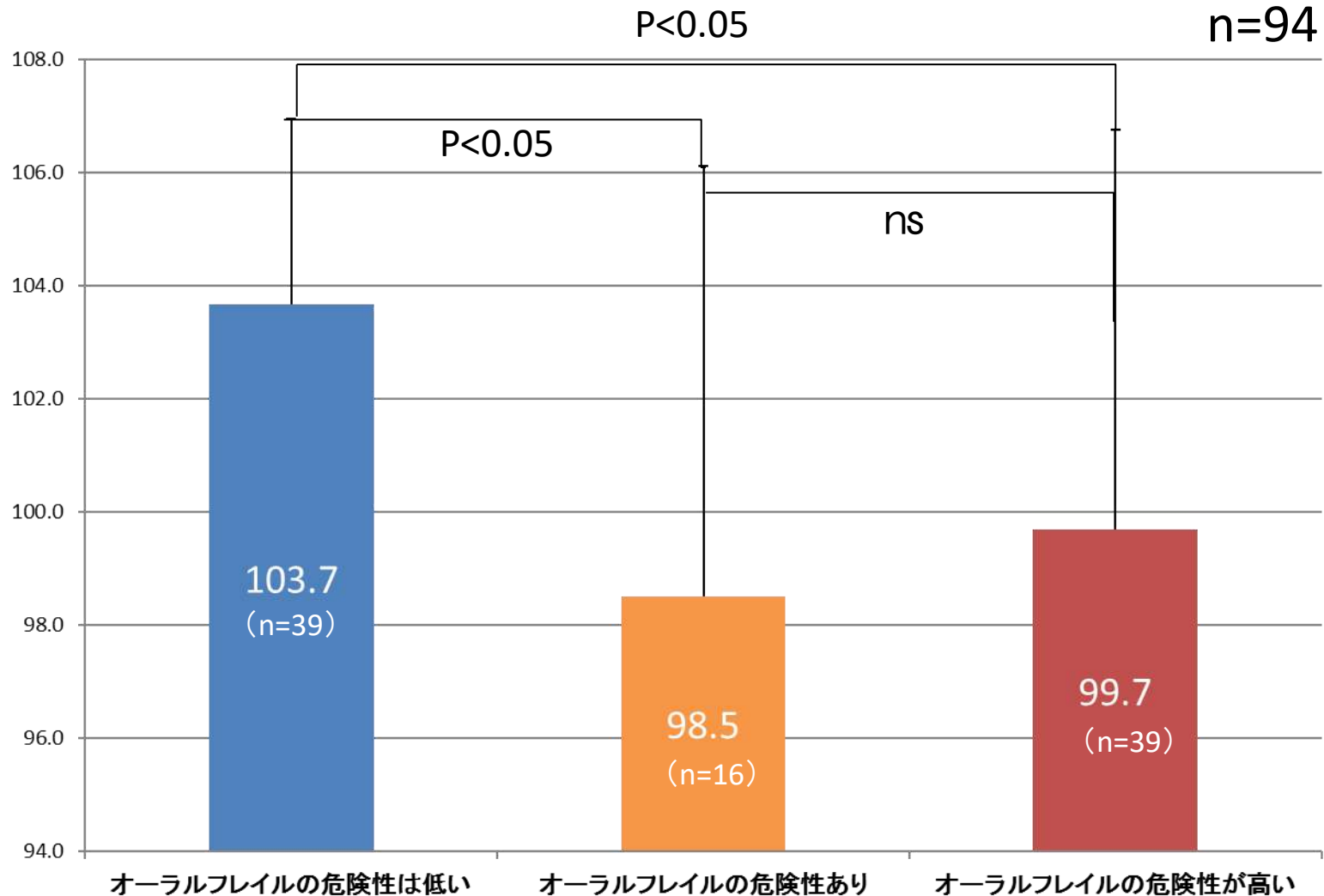
当院GNRIの割合

■ 栄養リスクなし ■ 栄養リスクあり



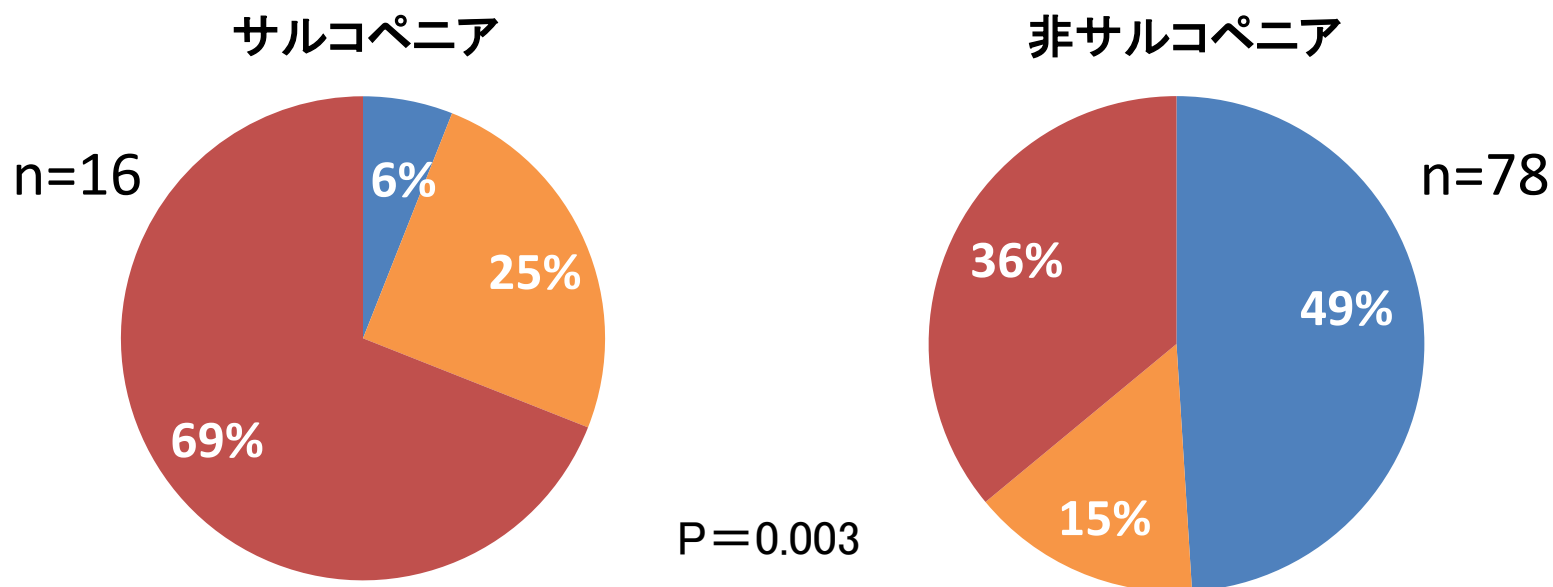
当院のGNRI平均 101.1

結果①オーラルフレイルとGNRI



結果②

サルコペニアにおけるオーラルフレイルの割合



- オーラルフレイルの危険性は低い
- オーラルフレイルの危険性あり
- オーラルフレイルの危険性が高い

結果

- 【結果】オーラルフレイルの危険性が低い群は高い群に比べて、GNRIが高く、サルコペニアの割合は低かった。

結語

- ・透析患者においてオーラルフレイルは、栄養・運動機能低下に繋がることが示唆された。透析患者高齢化に伴い、今後さらにオーラルフレイルの割合が増える可能性がある。栄養士として回診・栄養相談から些細な口腔内の情報を収集し、他職種と連携しながら食事量低下に繋がる前に早期の栄養介入していきたい。
- ・また当院では週1回透析前にオリジナルの嚥下体操を実施しているので、オーラルフレイルと関連があるかみていきたい。